国立国会図書館
東日本大震災アーカイブ
ひなぎく

http://kn.ndl.go.jp

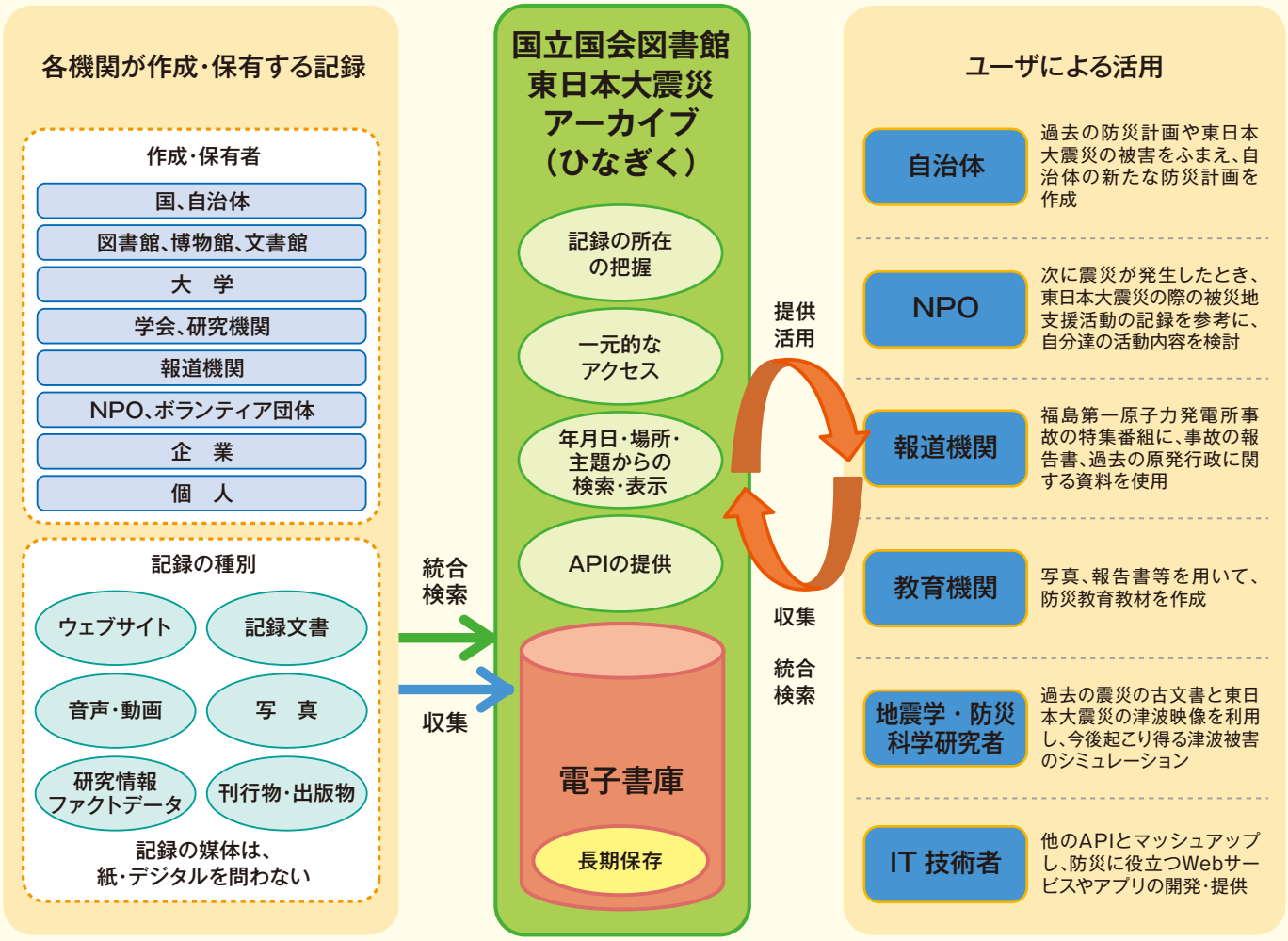
東日本大震災に関するあらゆる記録・教訓を次の世代へ伝え、被災地の復旧・復興事業、今後の防災・減災対策に役立てられるように、公的機関、民間団体、報道機関等による記録・報告書や大学、学会、研究機関による学術研究の成果などを一元的に検索できるポータルサイトです。

国立国会図書館
東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）とは

政府の「復興構想 7 原則※1」や「東日本大震災からの復興の基本方針※2」において、地震・津波災害、原子力災害の記録・教訓の収集・保存・公開体制の整備を図り、国内外を問わず、誰もがアクセス可能な一元的に活用できる仕組みを構築する必要性が掲げられました。

国立国会図書館では、このような国としての方針を踏まえ、東日本大震災の記録を国全体で収集・保存・公開するため、国内外の様々な機関・団体と協力し、「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ」の構築に取り組んでいます。

全体イメージ図



【※1】第 4 回東日本大震災復興構想会議（平成 23 年 5 月 10 日決定）
【※2】東日本大震災復興対策本部（第 5 回）（平成 23 年 7 月 29 日決定、平成 23 年 8 月 11 日改定）
ひなぎく上で検索してご覧いただけます。

「ひなぎく」の
ご利用方法

1 国立国会図書館のトップページから
「NDL 東日本大震災アーカイブ」にアクセス

2 調べたいキーワードを入力

3 検索結果の表示
地図上や時系列上にも
表示されます

4 報告書、写真、動画などがご覧になれます
（一部は目録情報のみ）

国立国会図書館は、
様々な機関と連携・協力し、
記録の収集・保存・提供を行っています。

地方公共団体

八戸市・三沢市・おいらせ町・階上町

図書館

岩手県立図書館、神戸大学附属図書館、埼玉県立浦和図書館、仙台市民図書館、東松島市図書館、福島県立図書館

研究機関

科学技術振興機構、学校法人東北学院、国立情報学研究所、東北大学災害科学国際研究所、日本原子力研究開発機構、ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所、立教大学共生社会研究センターなど

報道機関

河北新報社、日本放送協会、フジテレビジョン・FNN(フジニュースネットワーク)など

写真・動画共有検索サービス

グーグル、ヤフー

企業・各種団体など

あおもりデジタルアーカイブ･コンソーシアム、国際協力 NGO センター、国立女性教育会館、日本赤十字社、東日本大震災アーカイブ福島協議会など

(五十音順　平成 26 年 7 月現在)

▶ 国立国会図書館は連携・協力機関をさらに広げ、各機関と分担して、東日本大震災に関する記録を収集・保存し、国全体としてのアーカイブの構築に努めていきます。
東日本大震災に関する記録の収集・保存へのご理解とご協力をお願いいたします。

愛称 ひなぎく について

「Hybrid Infrastructure for National Archive of the Great East Japan Earthquake and Innovative Knowledge Utilization」の頭文字をとり、「ひなぎく」という愛称を付けました。
ひなぎくの花言葉「未来」「希望」「あなたと同じ気持ちです」に、復興支援という事業の趣旨を込めています。

国立国会図書館　ひなぎく NDL東日本大震災アーカイブ

国立国会図書館　電子情報部　電子情報流通課　東日本大震災アーカイブ担当
〒100-8924　東京都千代田区永田町 1-10-1
電話：03-3581-2331(代表)　E-mail アドレス：hinagiku@ndl.go.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

2014.7